

キアンコウ *Lophius litulon*

地方名：あんこう、あんこ、げろ（鰐ヶ沢町）



生態

- ①寿命：15 年以上
- ②成熟：メス体長 50cm 以上
- ③産卵期：津軽海峡では 6 月～7 月
- ④分布：北海道以南から朝鮮半島沿岸および東シナ海まで分布
- ⑤生態：主に水深 200m 以浅の大陸棚上に生息。水温の変化や産卵活動に伴い深淺移動を行う。水深 50m～80m の海底から容易に水面付近まで浮上することが可能である。

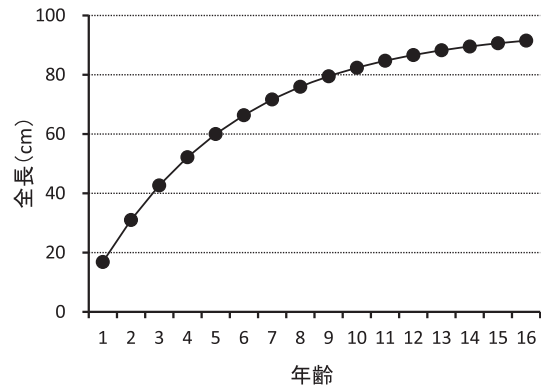


図 青森県におけるキアンコウの成長
出典：竹谷ら（2017）日水誌. 83, 9-17.

主な漁業

キアンコウはほぼ周年にわたって県内全域で漁獲される。太平洋、日本海では底びき網、津軽海峡、陸奥湾では刺し網、底建網等での漁獲が多い。冬季及び春季から夏季に多く漁獲されるが、春季から夏季には価格が極端に安くなる。

漁獲の動向と水準

漁獲量は、青森県海面漁業に関する調査結果書では 2005 年から集計されており、それ以前の漁獲データはない。漁獲量は 2005 年以降、2009 年まで 900 トン前後で推移していたが、その後は減少した。2016 年に増加に転じて、以降は横ばいが続き 2024 年の漁獲量は前年より微増して 574 トンであった。

2024 年の漁獲動向は、漁獲量の直近 5 年間の傾きから横ばいと判断した。漁獲水準は、漁獲量の最高値と最低値との間を 3 等分し、上から高位、中位、低位とすると、中位であった。

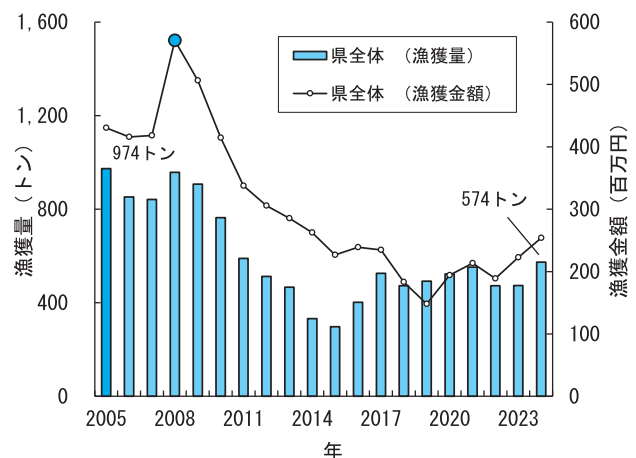


図 青森県におけるキアンコウの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

- 風間浦村きあんこう資源管理指針（風間浦村きあんこう資源管理協議会 2009 年 10 月）
- ・全漁業種類において、体重 2 キログラム未満の生存個体の再放流について定めた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・青森県産業技術センター水産総合研究所等は、背鰭第一棘による年齢査定法と外観による性判別法を開発した。今後は、これらの技術を活用した資源量推定技術の確立が期待される。
- ・2021 年 1 月に風間浦村で水揚げされた体重 8.2kg のキアンコウの胃から海鳥のウトウが発見された。（野呂（2021）水と漁. 第 36 号.）

漁獲の動向



横ばい

漁獲の水準

中位